

第2学年 英語科 学習指導案

日 時 2025年9月3日 (水)

第4校時 11:45~12:35

対 象 第2学年 CD組 79名

会 場 2年C組・2年D組・第1音楽室

1 単元名

Unit 4 Tour in Singapore Part 1 どこに行きたい?……「Here We Go!」(光村図書)

2 単元の目標

- ・グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取ることができる。
- ・町の名物の魅力について、There is ~.、「S+V+0+0」、不定詞の形容詞的用法を用いて伝え合うことができる。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 〈知識〉 There is ~.、「S+V+0+0」、不定詞の形容詞的用法の文の意味・形・使い方を理解している。 ② 〈技能〉 There is ~.、「S+V+0+0」、不定詞の形容詞的用法などについての理解をもとに、シンガポール・グルメの紹介サイトの内容を読み取ったり、町の名物について説明したりする技能を身に付けている。	①Tina と David の希望に合う昼食をとる場所を探すために、シンガポール・グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取っている。 ②町の名物の魅力が他の国や地域の人に伝わるように、伝えたい情報を整理して、自分が紹介したい名物について詳しく説明している。	①Tina と David の希望に合う昼食をとる場所を探すために、シンガポール・グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取ろうとしている。 ②町の名物の魅力が他の国や地域の人に伝わるように、伝えたい情報を整理して、自分が紹介したい名物について詳しく説明しようとしている。

4 単元指導計画 (全 9 時間扱い)

時	目標 (ターゲットセンテンス)	学習内容 ・ 学習活動	評 価
1	・単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 ・ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。	ストーリーのおおまかな内容をつかむ。 ・単元の題材に関する自分のことを伝え合い (About You)、ストーリーを予想する。 ・映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	ウー①【ワークシート】

<p>2 (本時)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • There is ~. / There are ~. を用いた表現を聞いたり使つたりして、行きたい場所と、そこにあるものについて理解し、簡単に伝えることができる。 	<p>目的や場面に沿って There is ~. を使う練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 登場人物の会話から、登場人物が明日行きたい場所とその理由を聞き取る。 • ペアになり、次の休みに行きたい場所とそこにあるものを伝え合う。 • 自分が次の休みに行きたい場所とそこにあるものを書く。 	<p>アー①【ワークシート】 イー①【パフォーマンス】</p>
3		<p>本文の内容を捉え、文脈の中で There is ~. の肯定文・疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、There is ~. の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	<p>アー①【観察、ワークシート】</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> • S+V+0+0 の文を用いた会話を聞いて、「誰に何を買うのか」を理解し、自分が買いたいお土産について簡単に伝えることができる。 	<p>目的や場面に沿って「S+V+0+0」を使う練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 登場人物のお土産屋での会話から、登場人物が誰に何を買うのかを聞き取る。 • ペアになり、自分なら誰にどんなお土産を買いたいかを伝え合う。 • 自分が誰にどんなお土産を買いたいかを書く。 	<p>イー②【観察、ワークシート】</p>
5		<p>本文の内容を捉え、文脈の中で「S+V+0+0」の意味・形・使い方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、「S+V+0+0」の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 <p>聞く／読む活動の際、Q の答えを探しながら読んでみるよう促すなど、Goal の「グルメの紹介記</p>	<p>アー②【ワークシート】</p>

		事から、必要な情報を読み取る」活動につながる指導を行う。	
6	・不定詞(形容詞的用法)の意味・形・使い方を理解し、自分の町の魅力を伝える表現として使うことができる。	<p>目的や場面に沿って不定詞(形容詞的用法)を使う練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンガポール市内の3か所での登場人物の会話を聞いて、話題を捉える。 ・ペアになり、自分の町のどんな場所や名物を紹介するかについて、意見を伝え合う。 ・自分の町の好きな場所や名物など紹介したいことを書く。 <p>話す活動の際、まず何を紹介するかをおおまかに言って、詳しい説明を足していくとよいことなど、Goal の「町の名物の魅力が伝わるように、詳しく説明する」活動につながる指導を行う。</p>	イー①【観察】
7		<p>本文の内容を捉え、文脈の中で不定詞(形容詞的用法)の意味・形・使い方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Q&Aなどを通して、本文の詳細を確かめる。 ・語句や表現、不定詞(形容詞的用法)の意味・形・使い方を確かめる。 ・本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	アー①【ペーパーテスト】
8	・グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の目的や場面、状況などを確かめる。 ・シンガポール・グルメの紹介記事を読み、Tina と David のどちらの希望にも合う一皿を選ぶ。 ・Q&Aなどを通して、記事の詳細や新出語句などを確かめる。 <p>必要な情報を読み取ることができない生徒には、紙面上の TIP に注目させ、第 4 時 (Part 2 の本文) で学んだ読み方を思い出したりするよう指導する。</p>	アー②【ワークシート】

9	<ul style="list-style-type: none"> 町の名物の魅力が伝わるよう に、詳しく説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> Tina に話すつもりで、自分の 町のおすすめの一皿を友達に 説明する。 伝える内容や説明の仕方を見 直し、他の友達にもう一度説明 する。 学習状況に応じて、Extra のシ ンガポールに行ったら食べて みたいものを、友達と伝え合う 活動に取り組む。 単元の学習全体を振り返り、自 己評価をする。 <p>中間振り返りの際、「どんな一皿 なのか、それを知らない人にも伝 わるか」、「食べたいと思ってもら えるような説明ができるか」の観点で、発表の内容や表現を見 直すよう促す。その際、Part の 本文や Goal の Read などで読 んだことを参考にさせる。</p>	<p>イー②【パフォーマンス】 ウー②【パフォーマンス】</p>
---	--	--	--------------------------------------

5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（個別最適な学び）



- 様々なテーマを準備し、自分が好きはテーマを選択して英作文ができるようにする。
例) スポーツ、ゲーム、学校生活、ファッショhn、キャラクターなど
- 到達度に合わせて個人で問題を解く量を調節する。また、教科書を読んで理解したり、仲間と相談しながら進めるなど、学び方を選択させる。
- スマールステップで課題を提示し、学習後、振り返りを行うことで自分がどこまで到達できているかを明 確にする。スマールステップを提示することで、「自分は Step2 はできるが、Step3 でつまづいている」と 具体的なメタ認知へと変わる。

6 本時の指導（全9時間中の2時間目）

（1）本時の目標

- There is ~. / There are ~. を用いた表現を聞いたり使ったりして、行きたい場所と、そこにあ るものについて理解し、簡単に伝えることができる。

（2）本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	<p>○ 帯活動に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> Song transcription  Past tense New words 	□意味を理解し、正しい発音やリズムで音読や発音をし ているかを確認する。

展開	<p>○書く英文の量を自分で選ぶ。</p> <p>「コース制」にする。</p> <p>1 ベーシック：3文程度（必要事項を確実に伝える）</p> <p>2 スタンダード：5文（理由や具体例を加える）</p> <p>3 チャレンジ：7文（自分の感想や相手への質問を加える）</p>	<p>□書く文章は1つではなく、複数書くように指示する。</p>
	<p>○There is a ~. / There are ~s. の基本文について理解する。</p> <p>○Activity</p> <p>指示：Please stand up. Walk around the classroom and find something interesting in three minutes.</p> <p>○探索しながら英文を考える。</p> <p>○興味があるものを見つけたら一人ずつ先生のところへ来て、指さしながら報告する。</p> <p>例：There is a poster on the wall. / There are two blackboards in the classroom.</p> <p>○報告後、ワークシートに自分が発話した英文を書く。</p> <p>○余裕があれば追加で1文考えて書く。</p>	<p>□There is a ~. / There are ~s. の基本文はスクリーンに表示しておき、必要な生徒は探索中に見ながら英文を考えられるようにする。</p> <p>◆イー①【パフォーマンス】</p> <p></p> <p>□探索した英文がなかなか決められない生徒は先に終わった生徒に手伝ってもらって一緒に考えてもよいことを伝える。</p> <p>◆アー①【ワークシート】</p>
まとめ	<p>○Text P. 51 Listening をする。</p> <p>○英語ラボ P. 72~73 を解く。</p> <p>○個人で本時の振り返りをワークシートに書く。</p>	<p>□出てくる新出単語をフラッシュカードで一巡してから始める。</p> <p>□間違えやすい問題のみ全体で解答・解説を行う。</p>